

## 令和元年度 ひまわり園 事業報告

### 【 事業概要 】

令和元年度は、自律（自立）、友愛、社会参加の3つの支援を基本方針として、生活介護（定員 24 名）・就労継続支援B型（30 名）・就労移行支援（6 名）の3事業を基本に、居宅介護事業（ライフサポートをつなぐ）を加え、関係機関や団体、他事業所、地域との連携等を通して、一人ひとりのニーズに合わせた福祉サービスの提供に努めました。

ひまわり園が運営する障がい福祉サービス事業の総収入は対前年比で3.7%増、支出も6.5%増となりました。

B型事業での生産、販売活動につきましては、売上16,729千円で対前年度比9%の減、純売上は10,453千円、10%減となりました。

カフェ・サンフラワーにつきましても厳しい状況であり、売上対前年度比145千円の減となりました。

消費税増税や新型コロナウイルス感染防止に伴う販売の縮小等の影響が少なからずありました。

利用者支援につきましては、自分でできることを維持、継続していくこと、また、利用者の強みを生かした支援（ストレングスの視点）を重視しました。

ご家族の高齢化等による家庭環境の変化に対応できるよう、居宅介護やグループホーム等、他機関と協力し支援に努めました。

### 1 利用者状況

令和2年3月31日現在

項 目	内 容		
平均年齢	39.64 歳（19 歳～70 歳）		
職員数	24 名		
利用者居住区別	東区 2 名 博多区 1 名 中央区 7 名 南区 3 名 城南区 5 名 早良区 14 名 西区 40 名 市外 1 名 計 73 名		
事業別利用者数・定員	利用者（定員）	男 性	女 性
就労継続支援事業B型	37（30）	19	18
就労移行	3（6）	1	2
生活介護	33（24）	16	17
合 計	73（60）	36	37

## 2 年間開所日数及び利用者数（一日平均利用者数）

就労継続支援事業 B 型	268 日	8,097 人（30.2 人）
就労移行支援事業	268 日	823 人（3.1 人）
生活介護	268 日	6,388 人（23.8 人）

## 3 事業別活動状況

### （1）生活介護事業

生活介護事業における生産活動は自主製品（陶芸・木工・手芸）の製造販売に加えて利用者の強みを生かした、封入、ポスティング等の仕事に取り組みました。また、外部講師の指導による、月 1 回の創作活動やレクリエーションを実施して内容の充実を図りました。利用者支援につきましては、重度障がいがある利用者へ適切な支援ができるよう、職員配置や専門的な研修を実施しました。戸外での活動として、西区橋本にお借りした畑での活動で、苗植えから収穫まで取り組みました。

### （2）就労移行支援事業 B 型

- ① パン・製菓の売上げは、伸ばすことができませんでした。また、カフェも創意工夫によるメニューの開発等を行いましたが売り上げ増にはつながりませんでした。
- ② 地域を中心に多数のバザー、販売会に出店しました。
- ③ 施設外就労としては、令和元年 12 月まで、セルフセンターを通した「倉庫内作業」（コンテナケース組立、整理等）に取り組みました。
- ④ できるだけ高工賃が維持できるよう、工賃規程を見直しました。

### 就労継続 B 型事業平均工賃（月額）

平均工賃月額	作 業 内 容
19,843 円	パン・製菓製造
(H30 年度 15,891 円)	カフェ
(H29 年度 15,028 円)	倉庫内作業

### （3）就労移行支援事業

製菓やカフェでの作業、ショップ等での販売活動を通し、意欲の向上やマナー、対人関係などが身につくよう取り組んでいます。ハローワークからの情報提供等も実施しました。1 名、福岡市任用職員（学校事務補助）として就職につなげることができました。

## 4 余暇支援

### （1）クラブ活動

毎月 1 回外部から専門の講師を招き、文化的余暇活動（茶道、書道、創作）と体育的余暇活動（エアロビクス、ウォーキング、軽運動）を実施し、リフレッシュできる

よう余暇に対する関心を高め充実を図りました。（3月以降講師の来訪なし）

## （2）休日余暇活動

毎月第2、第4土曜日、また休日のイベント時、希望者に余暇活動を提供し、年間29回、延べ352名の参加がありました。利用者の要望等を基にカラオケやボウリング、ショッピングモールでの買い物、DVD鑑賞等を実施しました。

## （3）イベントや招待行事等

地域との共催で阿古女祭を実施し、製品販売や日頃の取り組みの発表を行いました。また、障がい者週間記念の集いやふくふくフェスティバルなどへダンス発表として参加しました。プロ野球観戦の招待などは随時情報を伝え、社会参加や体験の機会を提供しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため感謝デイを中止。代替プログラム「ひまわりデイ」として利用者向けの商品紹介、販売を実施しました。

## 5 健康管理と防火管理等

- （1）医療機関（マリン病院・なかにわメンタルクリニック）による健診を2回ずつ実施。また、胸部レントゲン検査、希望者への血液検査も実施しました。その結果を基に看護師による健康相談を行い、生活習慣病の予防に取り組みました。
- （2）防災、防犯に対する関心と避難行動の習慣化を意識づけるため避難訓練を2回実施しました。また、地域防災訓練にも参加しました。
- （3）定期的に施設内の安全点検を行い、破損、危険箇所の早期発見と改善に取り組みました。
- （4）ヒヤリ・ハット等の提出により職員間の情報の共有化を図り、危機管理への意識を高めました。

## 6 その他の取り組み

### （1）ふれあい旅行（1泊・日帰り）

見聞を広め、また社会的マナーを学ぶこと等を目的に、1泊2日の旅行（大分方面）と日帰り旅行（門司港レトロ）のグループ分かれ実施しました。

### （2）利用者代表者会（本人活動）

利用者10名による「代表者会」を毎月2回開催し、事業所内でのサービスに関する意見を出し合う機会を設けました。2月には代表者会メンバーによる司会進行で「みんなの声を聞く会」を開催して意見交換を行い、「私の仕事」等に関して意見発表が行われました。

### （3）保護者会との連携

年6回開催されたひまわり園保護者会に出席し、施設の運営状況等について説明し、理解、協力を求め意思の疎通を図りました。（3月以降中止）また、園庭の花壇の手入れのご協力いただきました。

#### (4) 職員研修

##### ① 法人内研修

新任職員に対する研修や、ひまわり園主宰の専門研修、虐待防止委員会による障がい者虐待防止に関する研修等に参加しました。

##### ② 施設外研修

育成会関連の研修や大会(全国、九州)、社会就労センター、知的障がい者福祉協会、県・市社協、市民間協、強度行動障がい支援者研修等の研修会に勤務経験や職務内容に応じて参加しました。また、会議等で研修報告をし、職員間の情報の共有化を図りました。

#### (5) 利用者送迎

毎日計4台の施設車で利用者の送迎を実施しました。31名の送迎を実施していますが、まだ送迎の希望者は多い状態です。

#### (6) 経年劣化のため高圧電源の改修工事を実施しました。

### 7 地域との交流

- (1) 5月に地域懇談会を実施し、地域自治会や民生委員の方々に施設運営や利用者の現状について説明し施設への理解と協力をお願いしました。10月に地域やボランティアの方々の参加協力を得て阿古女祭を開催し、天候に恵まれ多くの来場者があり、商品購入やステージイベント等を楽しんでいただきました。
- (2) 施設見学や、大学、専門学校学生の実習等を積極的に受け入れ障がい者への理解や啓発に努めました。(3月以降中止)
- (3) 事業所内売店(ショップひまわり)で原則として毎日、地域の方を対象にパンやクッキー等の製品を販売しました。また、地域清掃活動を実施し、環境美化に努めました。また、地域老人会に施設の貸し出し等を行い、地域での社会資源としての活用促進に協力しました。

### 8 苦情受付状況

保護者等からのご意見やご相談には、その都度話しをする機会を設けました。あわせて利用者との関わりや保護者、保護者会との情報交換等気軽に話せる環境の整備に努めました。また、地域自治会長や公民館長とも情報交換を行いました。

苦情はありませんでした。

### 9 地域における公益的な取り組み

「ふくおかライフレスキュー事業」に参画し、生計困難者等に対する支援の事例報告、検討等が行われている、福岡市西区連絡会に参加しました。ひまわり園として、サポーターの配置や実践はまだありませんが、今後の取り組み方も含めて検討しています。